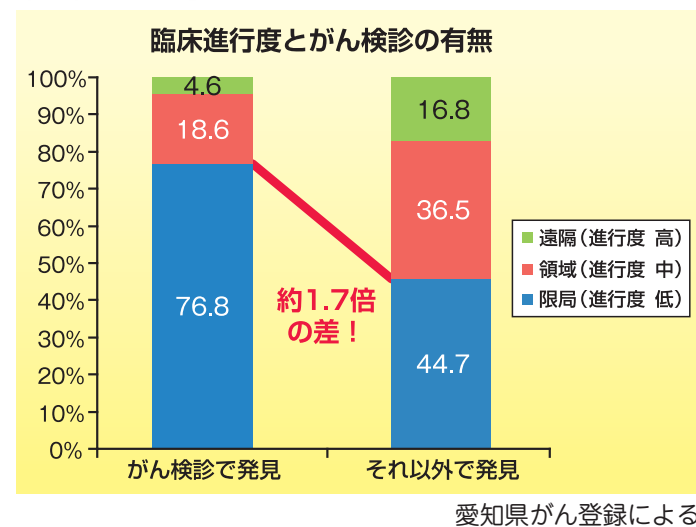


Q がん検診でみつかるがんは早期がんが多いの？

A 受診者の方が早期のがんで見つかります。

右のグラフは、がん検診受診でがんが発見された人と、それ以外で発見された人のがんの進行度（悪化の度合）を表したもので、圧倒的にがん検診受診者のほうが早期のがんで発見されていることがわかります。



Q 特にどこか痛むわけじゃないんだけど、それでも検診を受けなきゃだめ？

A 症状があってからでは遅いのです！

早期がんは痛みなど、症状を伴うことが少ないものです。また、**症状があって外来を受診した場合は進行したがんが見つかる場合が多い**のです。進行がんと比べ、早期がんは、そのほとんどが治り、しかも軽い治療で済むことが多いのです。

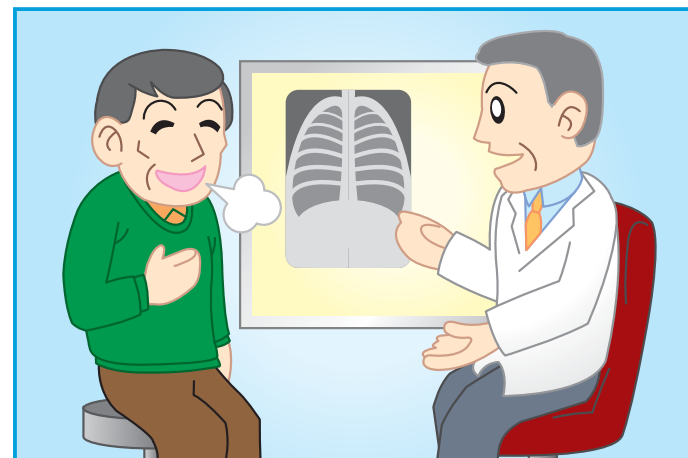
Q 毎年受診するのが面倒なんだけど...

A 早期にがんを発見できる時間は限られています！

がんは1 cm以上の大きさにならないと、検査しても発見は困難です。そして1 cmのがんは1年半ほどで2 cmのがんになります。この1 cm～2 cmの間の早期がんを見つけるため、検診は1～2年ごとに受診しなければなりません。そのため、胃がん、肺がん、大腸がん検診は毎年、乳がん、子宮がんは2年に1回の受診が勧められています。

Q がん検診はどこに申し込めばいいの？

A がん検診は市町村で受け付けています。



皆様がお住まいの市町村でがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診等）を実施しています。皆様がお勤めの職場によっては、職場でがん検診を行っているところもあります。また、個別に医療機関や検診機関で受診することも可能です。詳しくは各機関（市町村のがん検診であれば市町村役場）へお問い合わせください。

みんなで知ろう！ がん予防！

—正しい知識で正しい予防！—



青 森 県

監 修

弘前大学大学院医学研究科社会医学講座教授 中路重之

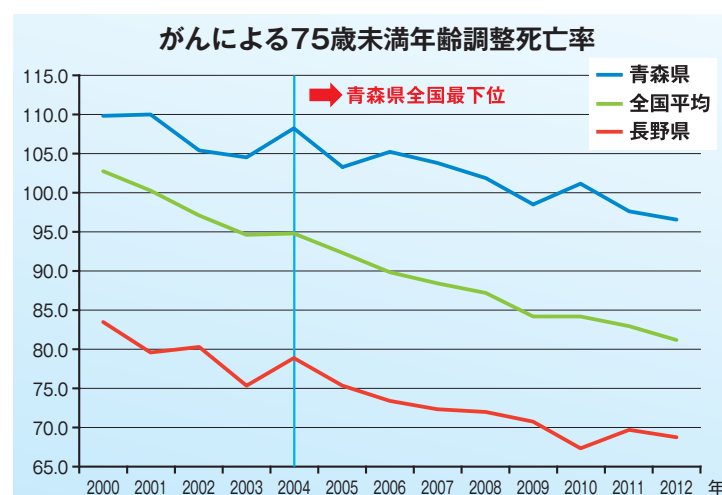
Q 青森県って、がんで死亡する人が多いの？

A 男女とも全国で最も多いです！

右のグラフは、がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）※です。がんによる死亡率は減少傾向にあるものの、2004年以降青森県は全国一高く（96.5人）なっています。

2012年では、全国でもっとも死亡率が低いのは長野県（68.6人）で、**青森県は長野県の約1.4倍の人が、がんで亡くなっているということになります。**

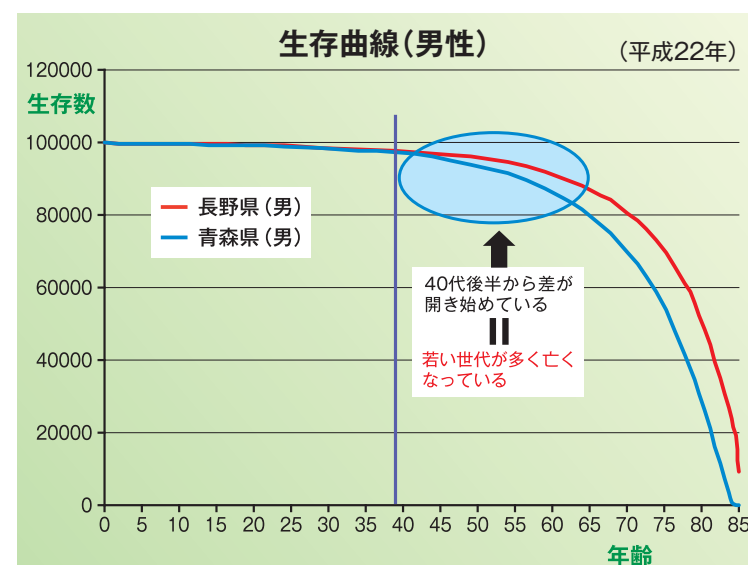
※年齢調整死亡率（人口10万人対）：年齢構成が著しく異なる人口集団の間での死亡率や特定の年齢層に偏在する死因別死亡率などについて、その年齢構成の差を取り除いて比較する場合に用います。



出展：国立がん研究センターがん対策情報センター「人口動態統計による都道府県別がん死亡データ」より

Q 青森県民の平均寿命は全国一短いってきいたけど、本当？

A 男女とも全国一の短命です。しかも「若い世代で亡くなる人が多い」のです！



青森県（男性）の平均寿命は77.3歳で、全国最下位です。トップの長野県（80.9歳）と比較すると、3.6歳の差があります。左のグラフをご覧ください。青森県と長野県を比べると40代後半から差が開き始めているのがわかります。

平均寿命3.6歳の差は、人生の最終時点の差ではなく、比較的若い年代での死亡率が高いことも含めた結果（数字）です。そして、**差が大きく開いている世代で最も多い死因ががんなのです。**

※生存曲線：0歳の時点での人口を10万人として、何歳のときに何人生存しているかを表すもの

Q がんになる原因って？

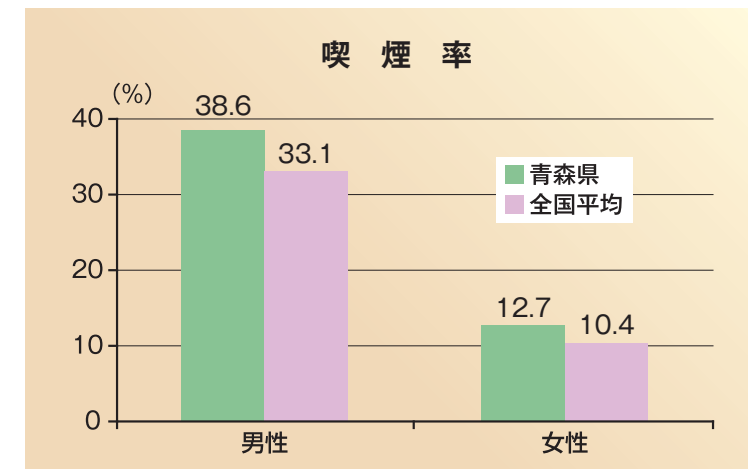
A たばこが最も「悪さ」をしています！

がんになりやすくなる原因は、お酒、たばこ、肥満、ウィルス等々様々あります。この中でも現在**最もがん発生との因果関係がはっきりしているのが喫煙**です。右のイラストは、たばこを吸わない人に比べて、たばこを吸う人が何倍死亡しやすいか（リスク）を表しています。

禁煙とがん死亡についての相対的リスク



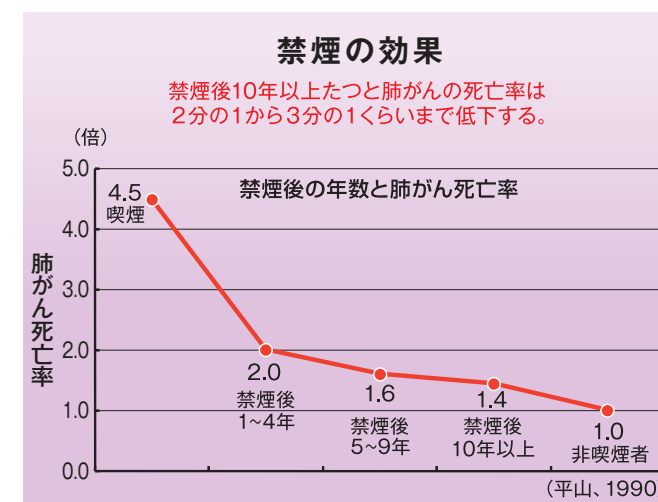
平成22年度に厚生労働省が行った調査によると、青森県男性の喫煙率は全国で最も高くなっています。



出展：国立がん研究センターがん対策情報センター「国民生活基礎調査による都道府県別喫煙率データ」より

Q どうしてもたばこが止めたい！なにかいい方法はないの？

A 禁煙治療という選択肢もあります！

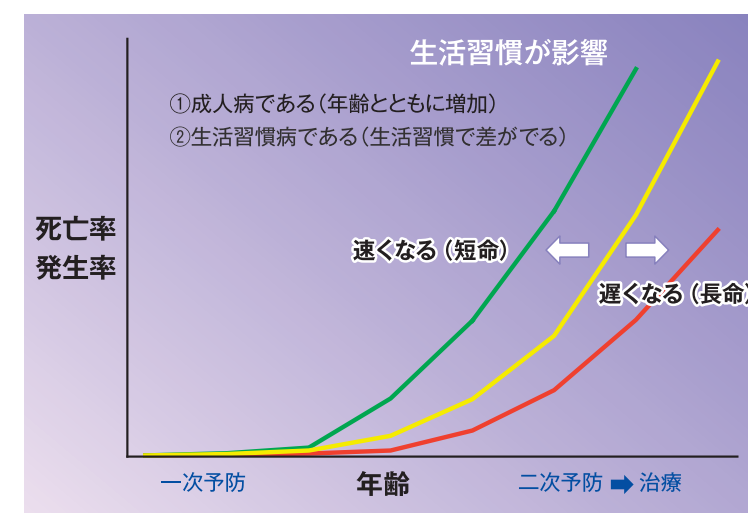


2006年4月1日から、一定の基準を満たす方への禁煙治療は健康保険が適用されることとなりました。青森県でも禁煙治療を行う病院・診療所は少しずつ増加しています。最新の禁煙治療実施医療機関は青森県庁のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/tabako.html> に掲載されています。

Q がん検診って受ける必要あるの？

A がんは早期に発見すればほぼ治ります！

がんという病気は加齢とともに発生病リスクが高くなる病気です。そのため、一定の年代からは、がんを早期に発見し、早期に治療することが重要となります。がんによる死亡リスクを減らすために、がんを早期発見できるがん検診は欠かせません。



弘前大学大学院医学研究科社会医学講座中路重之教授による